



佐々木哲雄さんに瑞宝単光章

令和3年春の叙勲【消防功労】

令和3年春の叙勲で、元町消防団第4分団長の佐々木哲雄さん(4区)が瑞宝単光章(消防功労)を受章し、6月4日に青木町長に受章の報告をしました。

佐々木さんは昭和41年に消防団に入団以来、退団するまでの41年間、地域社会の安寧に寄与されてきました。佐々木さんは「家族や地域の皆さんの支えがあって受章できた。今後も消防活動の発展に貢献していきたい」と話してくれました。



平泉工場の操業が本格化

株式会社長島製作所の平泉工場竣工式

5月25日、高田前工業団地で自動車部品の製造などを行う株式会社長島製作所の平泉工場竣工式が、同施設内で関係者らを招き行われました。

式の中で、新宮代表取締役社長は「創業の地が平泉町長島地区なので、平泉で新たなスタートを切ることができ嬉しく思う。皆さんにご協力いただきながら地域に貢献できるよう努力していきたい」と決意を述べていました。



ラジオとともに史跡を巡る

IBCラジオ平泉ウォーク

町内の史跡を歩いて巡る「IBCラジオ平泉ウォーク」が6月6日、平泉文化遺産センターを発着点に開催されました。2年ぶりの開催となった今年で13回目となる平泉ウォークでは、感染症対策を行いながら7キロコースのみが実施されました。

ラジオからは、町内の歴史などを紹介する番組が放送され、参加者は快晴の空の下、ラジオを聴きながら心地よい汗を流していました。



交通不便地域解消に向けた取り組み

コミュニティバス交通実証実験

町が、交通不便地域の解消や高齢者の交通手段確保に向けて取り組むコミュニティバス交通の実証実験が6月から始まりました。6月1日にJR平泉駅前で行われ、青木町長と高橋議長、一関タクシー業協同組合の伊藤利幸理事長(写真右)によるテープカットの後、コミュニティバスが運行を開始しました。実証実験は令和4年3月末まで行い、令和4年度からの本格運行を目指します。



お子さんの誕生をお祝いします

出産祝金贈呈式

町が本年度4月から支給を開始した出産祝金の贈呈式を6月8日に役場で行いました。

制度開始から2番目の対象者となったのは、5月11日に次女の舞桜ちゃんが誕生した阿部武さん優美さん夫妻(6区)。青木町長は「楽しい家庭を築いていただきたい」と町からの出産祝金として現金2万円とひらいずみ商業協同組合商品券3万円分を阿部さん夫妻に手渡しました。



世界農業遺産の認定へ挑戦続ける

束稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会総会

国連食糧農業機関(FAO)による世界農業遺産と農林水産大臣が行う日本農業遺産の認定に向け活動する束稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会の総会が6月1日に役場で行われました。

総会には同協議会を構成する平泉、一関、奥州、県の関係者ら23人が出席。青木会長があいさつで「地域の皆さんと活動を共にし、価値を認めてもらうため取り組んでいきたい」と3回目の挑戦への意欲を示しました。



日頃の練習の成果を発揮

長島幼年消防クラブ発会式鼓隊演奏

6月23日、長島保育所で長島幼年消防クラブの発会式が行われました。幼年消防クラブは、防火・防災体験を通して将来の火災予防の基礎を養い育てることを目的に活動しています。

発会式後には、幼児たちによる鼓隊演奏を行いました。今年から新しくなったかわいらしいユニホーム姿と日頃練習に取り組んできた幼児たちの元気な演奏を来賓や保護者らに披露しました。



思いやりのある優しい心を育む

町内幼稚園、保育所などで人権の花運動

6月2日と9日に、町内の幼稚園・保育所などで人権の花運動が開催されました。この運動は、子どもたちが花を育てることを通して、協力することや命の尊さを考え、思いやりのあるやさしい心を育むことを目的としています。

このうち平泉幼稚園・平泉保育所では、6月2日に年長児が参加して人権擁護委員4人と一緒に3種類の花苗を園庭の花壇に丁寧に植えていました。

